

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	取手市家庭教育支援チーム (呼称: きら rin 子育て)
②活動拠点	取手市戸頭2丁目49-25 高梨ビル一階
③活動範囲	取手市内公民館、つくばみらい市みらい平コミュニティセンター
④組織体制	<u>11</u> 人 生活相談士2名(うち 保育士1名を含む) ママさんサポーター8名(現在子育て中のお母さんたち)、保育士1名
⑤活動開始年度	平成21年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等)「きら rin 子育てセミナー」海老原 通代 (TEL) 050-5361-3157 (E-mail) aomushi.run.run.sakurasou@gmail.com

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>・「きら rin 子育てセミナー」の開催</p> <p>私たちの活動する「きら rin 子育てセミナー」の『きら rin』は「お母さま方がキラキラと明るく輝いていただきたい。」という思いからつけました。子供たちは太陽のようなママが大好きです。</p> <p>セミナーは公共の場をお借りして、去年は取手市や守谷市の公民館、現在はつくばみらい市のみらい平コミュニティセンターで開催しています。対象は妊婦さんから子育て中の保護者です。テーマは、子育てに関することとしますが、毎回変わります。講師をお呼びして、テーマに沿った講話や初対面の保護者同士での悩みの共有・子育てのことを話し合う時間を設けています。その後講師に直接話し合いで出た質問や疑問を聞いていきます。</p> <p>セミナー内で個人相談もできます。</p>

セミナーの様子



・子供倫理塾の開催

こちらは子供がメインで、『遊び』『学び』『しつけ』を三本柱に、子供たちが楽しめる企画です。具体的には工作や調理、太極拳を体験したりします。楽しむ中で、あいさつや返事、後片付けの大切さ、おやつの時間を作り食べ物の感謝の気持ちを自然と身につけていきます。年6回の開催予定です。保護者も一緒に参加することが可能です。保護者の方には、出来るだけ子どもの自主性を伸ばせるように見守りながら参加していただきます。

子供倫理塾の様子



夏祭り綿菓子作り



ミニ掛け軸作り

これらの企画等を月1回以上の話し合いの時間を持ち、決めています。

拠点は取手市戸頭の高梨ビルです。こちらは打ち合わせや子供倫理塾の時に利用させていただいています。

セミナー開催の時は子育て世代が利用しやすい施設(駐車場が広く認知度のある公共施設など)を毎回予約し利用しています。

	<p>課題はたくさんありますが、一人でも多くの方に私たちの活動を認知していただき、そして参加して悩みを出していただきたいです。1軒でも多くの家庭が明るく健やかな、子供にとって安心安全な場所になるように努力していきたいです。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>・「きら rin 子育てセミナー」では、参加した方々が「そう考えればいいんだ」「話して、話を聞いてスッキリした」という感想が多く、「またきます。」と笑顔で帰られます。また、実際講義で聞いたことを実践し、「夫が帰宅したら、家族で出迎えるようにしたところ、夫が育児に協力的になった。」というお母さんもいました。</p> <p>・「子供倫理塾」では、遊びながら学ぶことで、食べ物の感謝の気持ちや後片付けや挨拶や返事を身に付けていきます。</p> <p>保護者からは、「工作が好きな娘ですが、自宅ではゆっくりと工作をする時間がないので、ゆったりとした時間がとれてよかった。」「感謝の気持ち、後片付け、物を大切にするなど子供が自宅でも実践してくれるので、親が子どもを見て反省することがある。」という意見がありました。</p> <p>年齢の幅がある集まりなので、いろんな方と知り合えてよかったという意見もあります。</p>
<p>⑤活動財源</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (主催の家庭倫理の会からの予算に基づき活動しています。)</p>